

インタビュー

傍聴席からひびく声



佐藤 静夫さん
(山田・66歳)

「議会を傍聴されたきっかけは何ですか。」

推せんした議員の一般質問がある聞き出しました。また、山田町の将来はどうなるのか、最近の議会ではどんなことが話されているのか、把握できればと思います。

「議会を傍聴されての感想はいかがですか。」

議員も一生懸命に質問し、町長も質問に対して、真剣に答弁していました。議員、執行部とも町の将来のため

に、真剣に取り組んでいる様子がかがえました。

しかし、議員の中には声が小さく、聴き取りにくい場面がありましたので、大きな声で質問してほしいと思います。また、答弁の内容が理解できないことがありましたので、明解に回答してほしいと思いました。

「今後、議会または町政に望むことは何ですか。」

財政状況が悪いことばかりいつていては、町の未来がないように思います。新しい取り組みを議会と執行部が一体となって考え、ふるさと山田がもっと生き生きし、活力のある町になるよう、議会も町長も真剣に考えてほしいと思います。さらに議会が活発になるように願っています。

議員出欠表

◎ 病气入院 □ 公務欠席
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

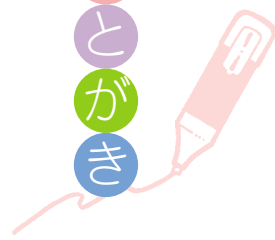
月 日	本会議種別	欠 席 者 等 氏 名
3月3日	第1回定例会	○生駒 利治 △昆 暉雄 (公務)
3月11日	〃	○豊間根 彪

明日の山田が見えてくる

みなさんと議会傍聴を

3月定例会には、18日間で延べ17人の方々が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて、町政課題や町の将来方向が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。

※6月定例会は、6月初旬に開会の予定です。



▼三月二十日開催された「山田カキまつり」は、多くの家族づれで賑わい、日本一の生産量を誇る「殻付きカキ」を始め、豊かな海産物の魅力を味わっていました▼まつりには、漁協や産直組合、商店など約三十団体が出店し、殻付きカキ、ホタテ、ワカメなどの特産品を販売し、入場客との会話もはずみ、活気のある一日となりました。山田湾がまぶしく光って見えたのは私だけではなかったと思います▼日本の「カキ」が育つ、この宝の海を大切に守らなければと強く感じたと同時に、「カキまつり」が町の基幹産業である水産業の振興に、ぜひ、役立ってほしいという気持ちでいっぱいでした▼今年、山田町合併五十周年の記念すべき年です。町民が誇りを持てる町づくりのために、皆さんと共に努力したいと考えています。(道又)